

【様式第5号】

上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン(案)パブリックコメントにおけるご意見と市の考え方

整理番号	計画・条例(案)の該当箇所		意見の概要	市の考え方	対応区分
	ページ	項目			
1			上諏訪駅舎についての記載がないが、駅舎の形態(橋上、連立交)によって未来ビジョンの方向や内容も変わる可能性がある。駅舎に対する考えを明確にしてほしい。	P42 project3「まちのエントランス空間整備」に関連し、駅のあり方については、今後検討を進めます。	B
2			諏訪市は「どこよりも住みたい街」を目指すべき。他の都市で実行されていることを取り入れ、実行してほしい。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
3			上諏訪駅に業務用機能は不要。業務機能は茅野駅と岡谷駅に任せ、上諏訪駅は快適な人の乗降ができればそれで良い。	P42 project3「まちのエントランス空間整備」に関連し、駅のあり方については、今後検討を進めます。	B
4			東洋バルブ跡地に新しい街を。住宅中心の開発をし、駅近くの休眠不動産と等価交換などして新しい街に稼働する不動産を持っていただき、諏訪の真ん中には大きな市民公園を。東洋バルブ跡地を市が無料で提供すれば、PFI方式にて、大手不動産業者は参加可能。	東洋バルブ跡地(諏訪湖イベントひろば)は、検討を経て策定された「諏訪湖イベントひろば基本計画」にて整備の方向性が示されています。	C
5			まちづくりの活動拠点づくりに関しては、将来を見据えた、継続可能で、成長が見込める場所を選定してほしい。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
6	P30		歩行者優先だけでなく、自転車も含めて欲しい。歩行者優先ゾーンを形成するだけでなく、その間の歩行しやすい一般道も作っていき、両極端にならないようグラデーションで道路の役割をデザインしていくことが大切。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
7	P30		かりんちゃんバスなど公共交通をもっと使いやすい形にする事で、自動車利用率の削減。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
8	P31		グランドレベルの多様化は具体的にどのように実現していくのが大切。例えば、指定区域は窓面積を半分以上にする条例や、景観条例のような仕組み。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
9	P35		公共空間のオープン化と、公共空間に隣接する私有地との連携。例えば、公園に隣接する空き家など。また、公園のparkPFIなど民間との協業も促し、公共空間の使い方の社会実験を積極的に行っていくことが大切。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
10	P36		遊休不動産の活用には地域おこし協力隊を募集し、民間とも協業を。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B

【様式第5号】

上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン(案)パブリックコメントにおけるご意見と市の考え方

整理番号	計画・条例(案)の該当箇所		意見の概要	市の考え方	対応区分
	ページ	項目			
11	P38		ウォークアブルゾーンを実現するには、そのゾーンまで誰がどのようにアクセスするかが大切。周辺の駐車場の整備、自転車専用道路、かりんちゃんバスなど。観光客だけでなく市民が楽しめるゾーンになるための工夫を。	ウォークアブルゾーン実現に向けては、P39 project2に記載の通り、フリンジパーキング、サイクルシェアシステム、歩行者ネットワークの整備などを想定していますが、ご提案の内容も、今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
12	P42		上諏訪駅西口に魅力的なお店があれば、西口を利用する人が増えると思う。そのためのテナント誘致ができる施設を実験的に作ってみるのが良いのでは。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
13	P43		諏訪の魅力を発信するのに、誰向けに発信するのが大切。目的に合わせて、何が諏訪の魅力なのかを客観的に意識することが大切。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
14	P47		現在の湖畔や公園は禁止事項が多く、市民活動がしにくい状況。もっと緩やかなルールで市民活動がしやすい環境づくりを。それが高校生の居場所にも繋がり、青春の思い出の景色にもなる。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
15	P47		モビリティというハイテクなものという印象があるが、ハイテクではなくてよく、身の丈にあった普及しやすい、利用しやすい形で、諏訪湖と駅がもっと近くなると良い。そのためには、アクセスを良くするだけでなく、途中の道沿いに商店が増え、湖までの道が楽しいというのも大切。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
16	P48		かりんちゃんバスの仕組みや運行状況の見直しを。運行本数が少ないと、日常生活では使用できない。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
17	P49		並木通りは花壇が巨大で歩道と車道が大きく分断されていることが使いにくさにつながっている。花壇をみんなで管理していてそれは魅力だが、もう少し抜本的な改革を行うと景色が変わり、活用方法が見えてくると思う。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
18	P49		柳並公園は地面が汚れていて雑草が多く、陰湿な雰囲気が漂っている。既存の資源も、きちんと整備すれば多大なコストをかけなくても魅力的になるのでは。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
19	P54		エリアプラットフォームに参画したい。	エリアプラットフォームの構成員や活動内容等の具体的内容は、ビジョン策定後に議論する予定です。	B
20	P55		10年後、20年後を見据えた「あるべき姿」は何か？それに向けたバックキャスト型推進も必要では。	将来像を第3章(P24～31)に、また、実現に向けた取組を第4章(P34～50)に記載しました。	B

【様式第5号】

上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン(案)パブリックコメントにおけるご意見と市の考え方

整理番号	計画・条例(案)の該当箇所		意見の概要	市の考え方	対応区分
	ページ	項目			
21	P56		現状の駅前、高校生の通学時くらいしか人の流れがない。土日も含め、人の流れ(賑わい)が全くイメージできない。何人の人が動くのか、住民をどう動員(主体的に)するか、施策に合わせて検討を。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
22	P28,29,43,44		水源の保全について、防災時にも効果を発揮できるよう、水循環基本法に基づいた条例を定めてほしい。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
23	P15,16,36,37		防災のための調整/遊水地などの緑地帯や雨水貯水、地下水量増加のための涵養事業を、耕作放棄地を活用して実施。道路脇の暗渠の泥や詰まりを取り除いて手入れをすることも、氾濫の防止になるのではないかと思う。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
24	P17~22,28,29,43,44		数ある市内の水源・湧水・地下水・温泉の取水口・温泉モニメントの全体地図を作成し、その場所に案内板を立てたり、祠を立てて水神様を祀りながら、学び、身に付けたりするのは楽しいのではないかと思う。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
25	P17~22,28,29,43,44		地区の温泉施設に温泉スタンド(できれば足湯も)を設けて、区の住民であれば割安で利用できるようにし、その収益を今後の下水道の維持管理費などに充ててはどうか。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
26	P17~22,28,29,43,44		旅館施設にも協力を仰ぎ、温泉療法を組み立て、健康増進。集客にもつながるのでは。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
27	P26~29,37~39,46,47		旧城北小学校校舎を、諏訪の水循環や自然、生態系の学びの場・発信の場として活用してはどうか。教室で講演・講座を開催、屋上は絶景スポットとして自転車で足をのばしてもらい、集会室はカフェに。	旧城北小学校の現施設については、市として解体の方針を示しております。また、当該施設は、ビジョンの対象エリア外です。	C
28	P25~29,35~40		土地の緑地化について、行政が民間や個人に対し「SDGs緑化協力」という意味で、減税・補助金・専門人材の派遣などで推進。SDGsについて、メディアを用いて、県や市から広報。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
29	P11,12,14~16,18~22,29~31,36,37		緑地化推進の一環として、敷地内の砂利やコンクリート面積を減らすこと・雑草を生やすことを、県か市から、市民に提案し推進してほしい。花粉症の増加を減らすことが出来るかもしれない。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
30	P11,12,14~16,18~22,29~31,36,37		公共交通は、交通手段としての価値だけでなく、市民への広報の場、市民の発表の場・情報交換の場としても有効。車内の広告欄に、アートや文芸作品を載せても面白いと思う。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B

【様式第5号】

上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン(案)パブリックコメントにおけるご意見と市の考え方

整理番号	計画・条例(案)の該当箇所		意見の概要	市の考え方	対応区分
	ページ	項目			
31	P15,16, 18~22, 28~31, 35,36,45,46		地域の防災機能を考え、山を掘らずにバイパスを造るとしたら、内水氾濫を防ぐため、空き家土地を整備し、調整池/遊水・親水池にする。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
32	P15,16, 18~22, 28~31, 35,36,45,46		湯の脇の大踏切を西口方向へ進む方向へ誘導し、三線の手前でそちらへ車を流す。低い高さの高架を引き入れ、新橋のガード下のように店舗を入れ、街を分断せず店舗を通して行き来ができるようにするのはどうか。	P42 project3「まちのエンタランス空間整備」に関連し、駅のあり方については、今後検討を進めます。	B
33	P23		衣之渡川・中門川を水郷として整備して、泥船観光船を運航する。かつて小和田に港があって、諏訪湖まで船で出ていた。その昔の港を復活、観光客を楽しませる。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
34	P17		浸水については、「100年に一度の規模」よりも、範囲を絞って具体的な取り組みを始めた方が良いのでは。上諏訪駅周辺で新しく住居/店舗を構える場所として選定しようにも、水がつきやすい印象があって躊躇してしまう。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B
35	P37		イベント広場の活用法として、BBQ場を提案する。水道、トイレ、ゴミ捨て場のみを提供し、グリルなど全て持ち込み。有料・予約制とすることで、周辺への悪影響を無くせる。駅近のBBQ場は観光資源となり得る。	東洋バルヴ跡地(諏訪湖イベントひろば)は、検討を経て策定された「諏訪湖イベントひろば基本計画」にて整備の方向性が示されています。民間活力導入にあたり、民間の提案を審査する際に検討してまいります。	B
36	P40		ヨーロッパの市街地でよくある、道路の真ん中にパラソル、テーブル、ベンチを用意、地元飲食店によるオープンカフェを提案する。屋台を伴うお祭りではなく、あくまで日常の延長として。	今後の取り組みにおいて参考にさせていただきます。	B

対応区分	対応内容
A	計画案を修正・追加する。
B	計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて参考にする。
C	検討の結果、計画案には反映しない。